

工事事務(速報)の情報提供について

工事の安全管理には、日頃から万全を期していただいているところではありますが、この度、残念ながら別紙に示す工事事務が発生しました。

各事務(管理)所の工事現場において、このような工事事務が再び発生することのないように工事事務概要を皆様にお知らせいたします。

本資料を活用し、受注者を適切にご指導頂き、再発防止に努めて頂きますようお願いいたします。

【工事事務(速報)発生状況】

(H24.2.29現在)

	2月発生件数	累計件数	死亡者数	負傷者数
平成23年度(今年度)	9件	66件	1人	17人
平成22年度(昨年度)	7件	77件	3人	25人

注1) 上記は、関東地方整備局管内の工事事務発生件数(速報)を示す。

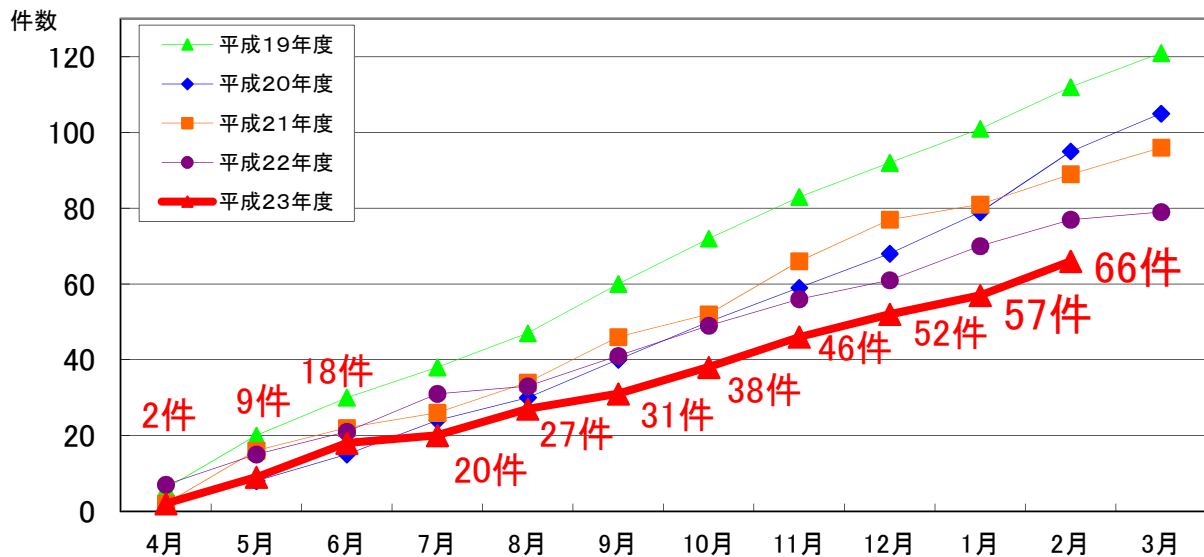
注2) 「2月発生件数」は、2/1～2/29の間に起きた件数。(月毎分)

注3) 「累計件数」は、4/1～2/29の間に起きた件数。(累計分)

注4) 「死亡者数」「負傷者数」は、4/1～2/29の累計人数を示す。

注5) 平成23年度の数字は「速報」であり、審査の結果、「不問」になる可能性がある。

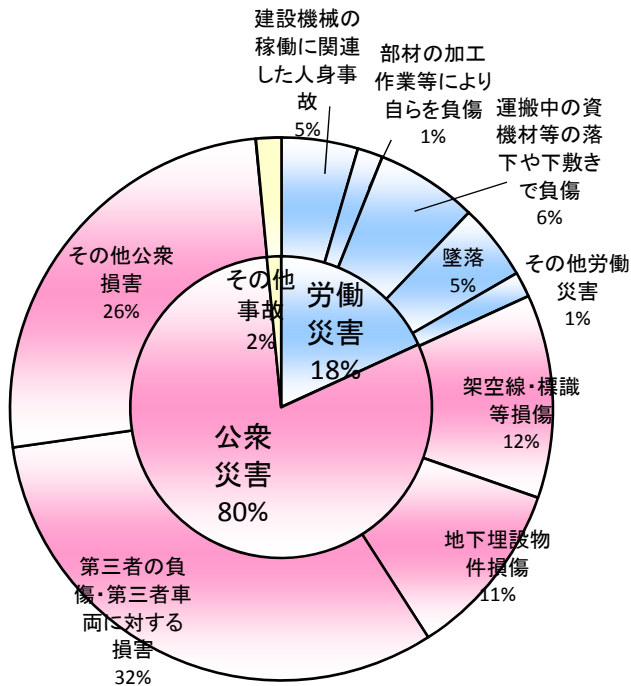
●工事事務件数



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成19年度 累計 (月毎)	6件 (6件)	20件 (14件)	30件 (10件)	38件 (8件)	47件 (9件)	60件 (13件)	72件 (12件)	83件 (11件)	92件 (9件)	101件 (9件)	112件 (11件)	121件 (9件)
平成20年度 累計 (月毎)	2件 (2件)	8件 (6件)	15件 (7件)	24件 (9件)	30件 (6件)	40件 (10件)	50件 (10件)	59件 (9件)	68件 (9件)	79件 (11件)	95件 (16件)	105件 (10件)
平成21年度 累計 (月毎)	2件 (2件)	16件 (14件)	22件 (6件)	26件 (4件)	34件 (8件)	46件 (12件)	52件 (6件)	66件 (14件)	77件 (11件)	81件 (4件)	89件 (8件)	96件 (7件)
平成22年度 累計 (月毎)	7件 (7件)	15件 (8件)	21件 (6件)	31件 (10件)	33件 (2件)	41件 (8件)	49件 (8件)	56件 (7件)	61件 (5件)	70件 (9件)	77件 (7件)	79件 (2件)
平成23年度 累計 (月毎)	2件 (2件)	9件 (7件)	18件 (9件)	20件 (2件)	27件 (7件)	31件 (4件)	38件 (7件)	46件 (8件)	52件 (6件)	57件 (5件)	66件 (9件)	

※なお、平成21年度工事事務より、国の管理物損傷事故件数を措置の対象としている。

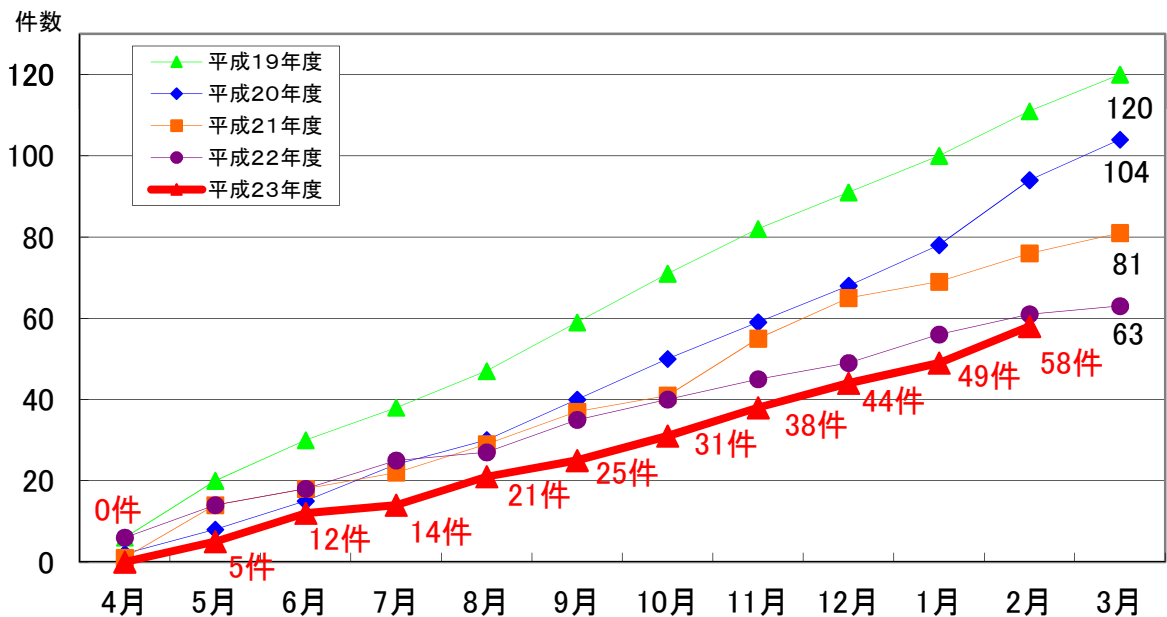
●平成23年度 工事事務発生状況(発生形態別)



	発生形態	H21	H22	H23	過去3年間計
労働災害	建設機械の稼働に関連した人身事故	12	6	3	21
	部材の加工作業等により自らを負傷	5	4	1	10
	運搬中の資機材等の落下や下敷きで負傷	5	2	4	11
	墜落	6	8	3	17
	準備作業、測量調査業務等における人身事故	1	0	0	1
	その他労働災害	5	5	1	11
小計		34	25	12	71
公衆損害	架空線・標識等損傷	20	14	8	42
	地下埋設物件損傷	7	6	7	20
	第三者の負傷・第三者車両に対する損害	11	13	21	45
	その他公衆損害	23	19	17	59
	小計	61	52	53	166
その他事故		1	2	1	4
計		96	79	66	241

●H23年度重点的安全対策項目

●「その他公衆損害」事故のうち、車両管理業務等の車両の自損事故を除く事故件数



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成19年度 累計	6件	20件	30件	38件	47件	59件	71件	82件	91件	100件	111件	120件
(月毎)	(6件)	(14件)	(10件)	(8件)	(9件)	(12件)	(12件)	(11件)	(9件)	(9件)	(11件)	(9件)
平成20年度 累計	2件	8件	15件	24件	30件	40件	50件	59件	68件	78件	94件	104件
(月毎)	(2件)	(6件)	(7件)	(9件)	(6件)	(10件)	(10件)	(9件)	(9件)	(10件)	(16件)	(10件)
平成21年度 累計	1件	14件	18件	22件	29件	37件	41件	55件	65件	69件	76件	81件
(月毎)	(1件)	(13件)	(4件)	(4件)	(7件)	(8件)	(4件)	(14件)	(10件)	(4件)	(7件)	(5件)
平成22年度 累計	6件	14件	18件	25件	27件	35件	40件	45件	49件	56件	61件	63件
(月毎)	(6件)	(8件)	(4件)	(7件)	(2件)	(8件)	(5件)	(5件)	(4件)	(7件)	(5件)	(2件)
平成23年度 累計	0件	5件	12件	14件	21件	25件	31件	38件	44件	49件	58件	
(月毎)	(0件)	(5件)	(7件)	(2件)	(7件)	(4件)	(6件)	(7件)	(6件)	(5件)	(9件)	

■問合せ先:企画部 技術調査課 田島・直海 (TEL 048-600-1332)

発生日時	平成24年2月2日（木）8時30分				天候	晴
工事情報	道路系事務所 機械設備工事					
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度		
	－	－	－	一般車両損傷		
事故概要	設備修繕作業の際に施工に支障のあった車両を動かした際に損傷させたもの。					
	公衆損害事故－第三者の負傷・第三者車両に対する損害					

事故発生状況

破損箇所 後部バンパー

駐車室柱と車両後部バンパー
が接触し、破損した。



地下2階AレーンA311駐車室にて撮影



入庫バースにて撮影

- ・当日の作業エリアにあった車両を別の駐車室に動かした際に、駐車室の柱に車両を接触し、損傷させたもの。
- ・駐車室は大きさの違う2種類のタイプ(大型乗用車用、ハイルーフ車用)があり、ハイルーフ車用駐車室は大型乗用車用駐車室より幅が狭かったが、元請、作業を実施した下請は把握していなかったため、動かした際に接触したもの。

【事故発生原因】

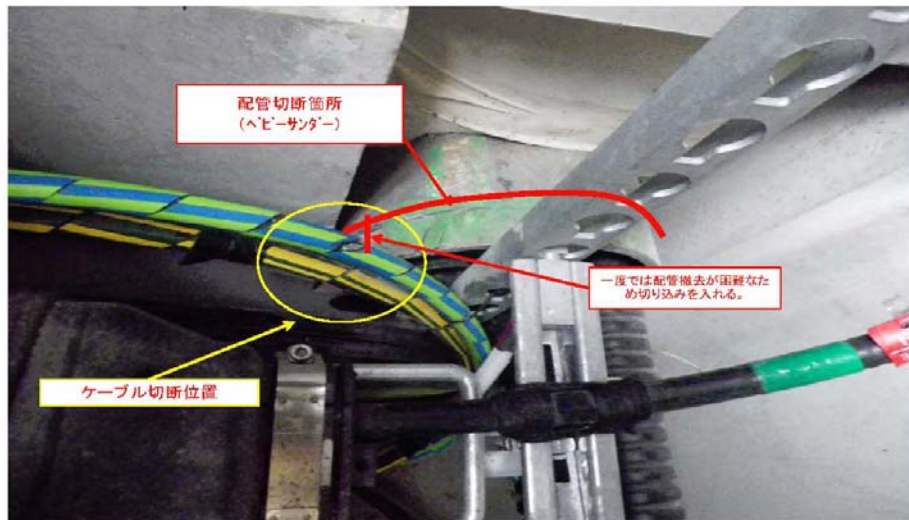
- ・車両より幅の狭い駐車室に車両を動かしたため。 など

【事故防止のポイント】

- ・作業を実施する前に現場状況を確認し、的確な作業指示を行う。 など

発生日時	平成 24 年 2 月 6 日 (月) 11 時 40 分				天候	曇
工事情報	道路系事務所 通信設備工事					
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度		
	-	-	-	光ケーブル損傷		
事故概要	塩ビ管をベビーサンダーで切断・仕上げ作業中、光ケーブルを損傷させたもの。					
	公衆損害事故ーその他公衆損害					

事故発生状況



- ・端末処理のため、ベビーサンダーにて塩ビ管の切断を実施。
- ・ケーブルを手で押さえて切り込みを入れていた際に、ベビーサンダーのカバーが死角となりケーブルの接触に気がつかず、損傷させたもの。
- ・ケーブルの防護等はしていなかった。

【事故発生原因】

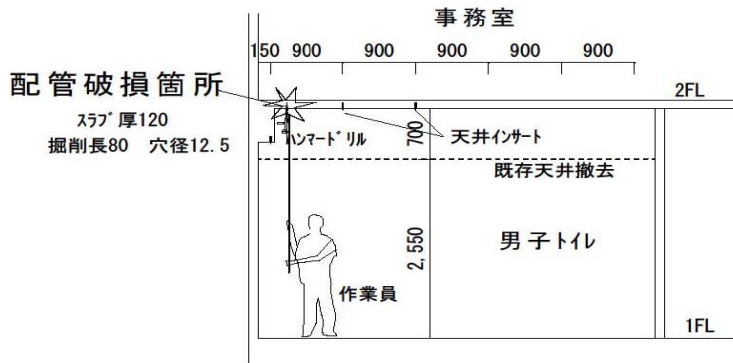
- ・切断作業に支障となるケーブルを養生せずに作業をおこなったため。
など

【事故防止のポイント】

- ・損傷の恐れがある作業については、事前にケーブルを安全な場所へ動かす、または保護してから作業するよう計画を立てて実施する。
など

発生日時	平成 24 年 2 月 12 日 (日) 9 時 40 分				天候	晴
工事情報	営繕系事務所 建築工事					
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度		
	-	-	-	電気配線損傷(停電約4時間)		
事故概要	天井インサート用アンカーを施工中、既設電気配線を損傷させたもの。					
	公衆損害事故－第三者の負傷・第三者車両に対する損害					

事故発生状況



損傷状況

・天井INSERT用アンカーを施工していた際に既存配管を損傷させたもの。

・元請が事前に探査にて配管の確認をおこなっておらず、この作業員は管があることを知らなかった。

【事故発生原因】

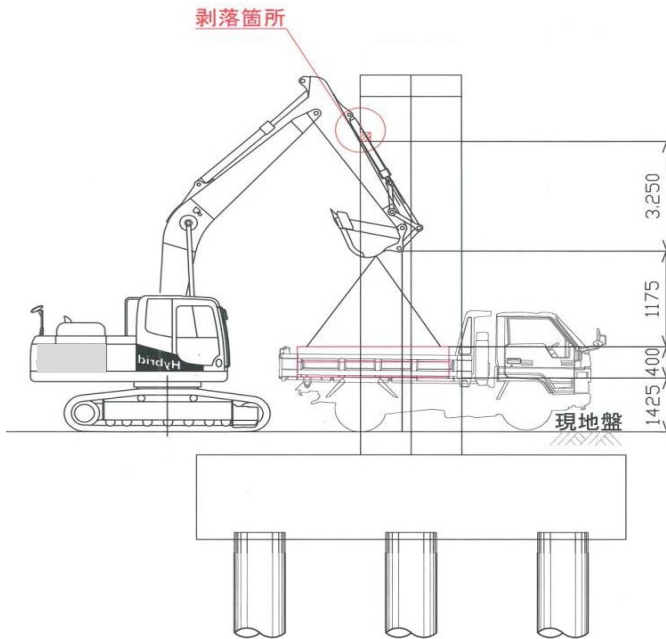
・事前に配管の確認を実施しておらず、管に関する情報について作業員に周知していなかったため。 など

【事故防止のポイント】

・作業する箇所の事前確認を十分実施し、作業員に周知する。 など

発生日時	平成24年2月13日（月）				16時50分	天候	曇
工事情報	道路系事務所 一般土木工事						
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度			
	-	-	-	橋脚損傷			
事故概要	バックホウにて覆工板の盛換作業をしていた際に、既存橋脚を損傷させたもの。						
	公衆損害事故－架空線・標識等損傷						

事故発生状況



損傷想定状況



損傷状況

・クレーン機能付きバックホウにて覆工板を設置していた。
吊り上げて動かした際に橋脚に接触し損傷させたものと思われる。
(バックホウ、橋脚ともに接触傷確認済み)

・監視員は配置されていなかった。

【事故発生原因】

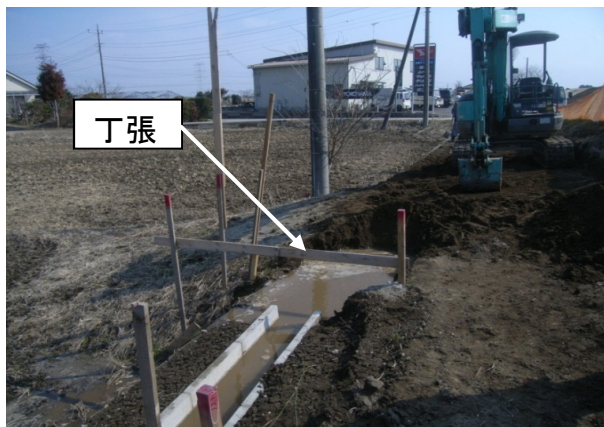
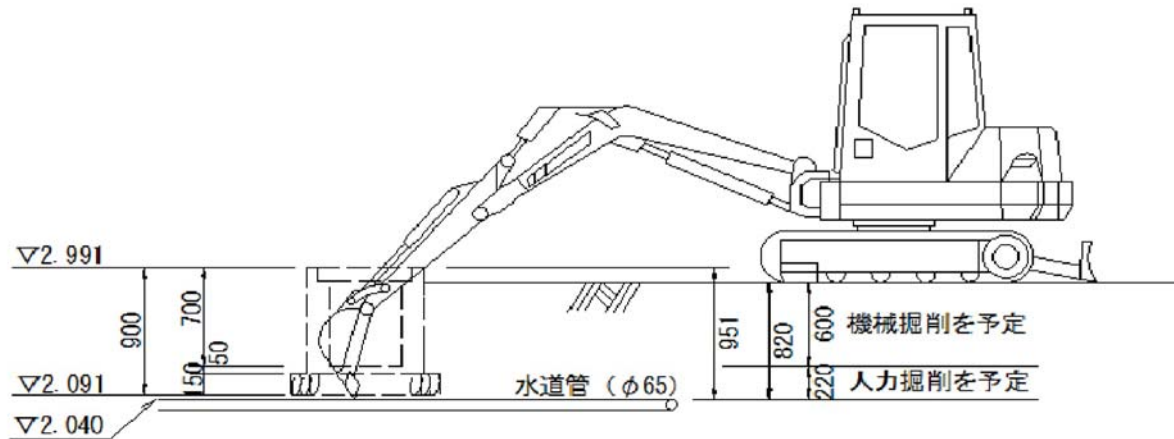
・上空支障物に対する注意喚起が不足していたため。 など

【事故防止のポイント】

・上空支障物近接箇所における作業については特に注意するよう作業員に周知・徹底する。 など

発生日時	平成 24 年 2 月 22 日 (水)				9 時 55 分	天候	曇
工事情報	河川系事務所 一般土木工事						
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度			
	-	-	-	水道管損傷(水圧低下・10軒)			
事故概要	側溝敷設のためバックホウにて掘削中、水道管を損傷させたもの。						
	公衆損害事故ー地下埋設物件損傷						

事故発生状況



現場状況

・排水路の排水柵(B500×H600)設置作業。

・事前に試掘にて管の位置を確認し、上記の図のように掘削計画を立てていた。

・バックホウにて掘削を行っていた際にバケットにて水道管を圧迫し、亀裂破損を発生させたもの。

【事故発生原因】

・地下埋設物に対する注意が不十分だったため。 など

【事故防止のポイント】

・地下埋設物近接付近での作業については、十分注意するよう作業員に周知・徹底する。 など

発生日時	平成24年2月22日（水）				11時50分	天候	晴
工事情報	河川系事務所 一般土木工事						
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度			
	－	－	－	ボックスカルバートウイング損傷			
事故概要	バックホウで法面工掘削中、ボックスカルバートウイングを損傷させたもの。						
	公衆損害事故－地下埋設物件損傷						

事故発生状況



ウイング下流側破損状況



ウイング上流側破損状況

・法面掘削作業中であり、法面最下段の仕上げ高さまでの掘削をバックホウ(0.7m³)にて実施。

・転石の除去作業を行っていたところ、既設ボックスカルバートウイングを転石と間違えバケットで除去しようとし、ウイング部分を破損させたもの

・埋設物があることは事前にわかっていたが、試掘等で確認していなかった。

【事故発生原因】

・地下埋設物に対する注意が不十分だったため。 など

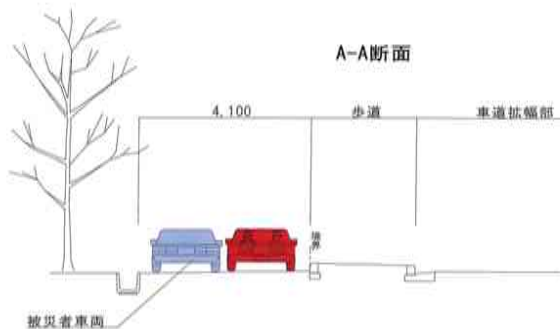
【事故防止のポイント】

・地下埋設物近接付近での作業については、埋設物の状況を十分に把握した上で施工を行う。

など

発生日時	平成 24 年 2 月 22 日 (水)				13 時 17 分	天候	晴
工事情報	道路系事務所 維持修繕工事						
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度			
	-	-	-	一般車両損傷			
事故概要	巡回中に一般車両と接触し、車両を損傷させたもの。						
	公衆損害事故－第三者の負傷・第三者車両に対する損害						

事故発生状況



現場状況

・BOXカルバート内照明、投棄物点検の為、側道を走行していたところ対向車両を確認、お互いに停車した。

・相手車両がしばらく動かない状態であったため、パトロール車が最徐行で進行したが、その際に相手方車両に接触、損傷させたもの。



損傷状況

【事故発生原因】

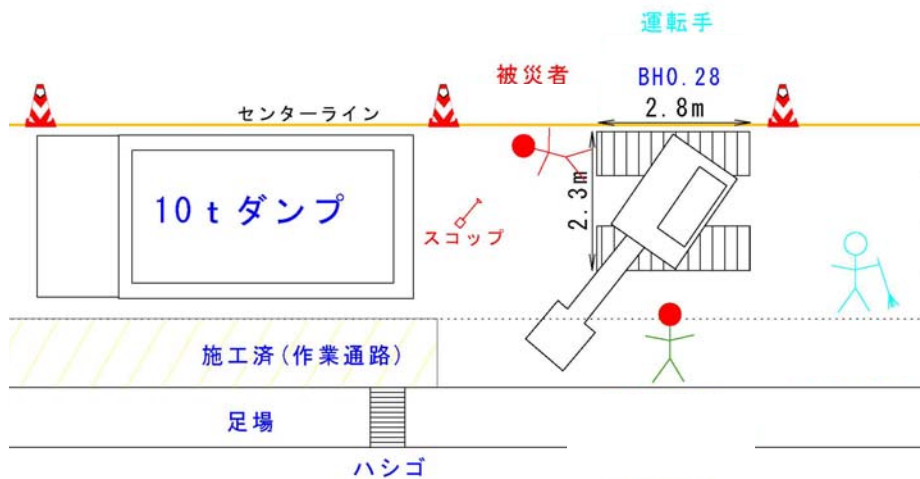
・車両運行員の右側方向確認不足によるもの。 など

【事故防止のポイント】

・車両安全運転教育の徹底。
・危険箇所での運転については特に注意するよう運転手に再度教育を実施する。 など

発生日時	平成 24 年 2 月 24 日 (金) 10 時 0 分				天候	曇
工事情報	道路系事務所 As舗装工事					
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度		
	男	58	作業員	骨盤左右骨折・右足首骨折		
事故概要	バックホウを右側に横移動したところ、作業員が足を踏まれ負傷したもの。					
	工事関係者事故ー建設機械の稼動に関連した事故					

事故発生状況



配置状況(抜粋)



現場状況

・ガードレール基礎設置のため、既存コンクリート擁壁を取り壊し、積み込み作業を実施していた。

・破碎したコンクリート殻をバックホウにてダンプトラックに積み込もうと移動した時、作業員に接触、負傷したものの。

【事故発生原因】

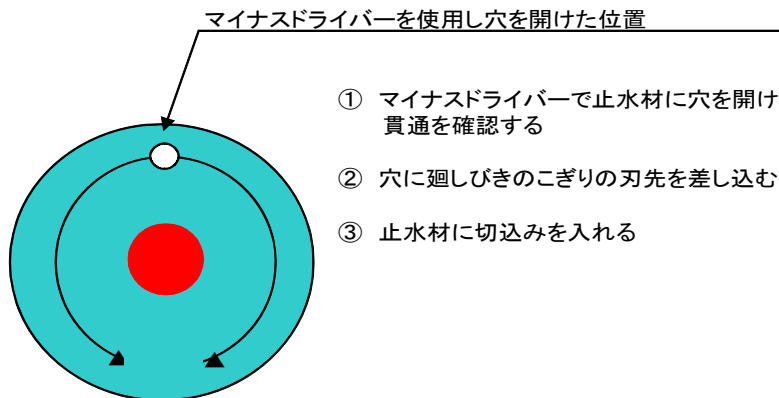
- ・オペレータの周囲確認不足。
- ・作業員が重機の周辺で作業をしたため。 など

【事故防止のポイント】

- ・重機の作業の際には監視員を配置し、周辺を確認すること。
- ・重機周辺に立入禁止区域を設定する。 など

発生日時	平成 24 年 2 月 27 日 (月)				11 時 15 分	天候	晴
工事情報	河川系事務所 維持修繕工事						
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度			
	-	-	-	光ケーブル損傷(通信に影響なし)			
事故概要	ハンドホール止水材撤去作業中、光ケーブルを損傷させたもの。						
	公衆損害事故ーその他公衆損害						

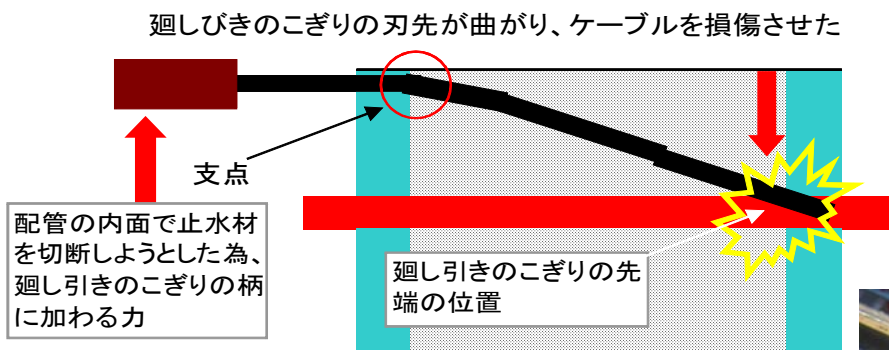
事故発生状況



・左記のような方法で止水材除去をおこなっていた。

・のこぎりで切り込みを入れた際に、刃先が曲がり、ケーブルを損傷させたもの。

・作業員3人が同様の作業を行い、3本損傷。



損傷状況

【事故発生原因】

・ケーブルを損傷させないための作業方法の検討が不十分であったため。
など

【事故防止のポイント】

・損傷の恐れがある作業については、損傷させない作業計画を立て実施する。
など